

介護について考えよう

介護の理解を深めるためのイベント「西原町介護の日イベント」(同実行委員会主催)が、11月16日に西原町中央公民館で開催されました。イベントには西原町役場や町包括支援センターの職員をはじめ、町内の在宅・入所介護施設の関係者などが参加しました。

イベントでは、城間清剛氏(城間クリニック院長・写真)を講師に迎えて「もの忘れが気になっていませんか?～認知症にならないために～」と題した講演会が開催されました。城間氏は「認知症は身近な病気」としてその種類や特徴を説明。「早く気付くと治せる場合があるし、患者の失敗や変化の原因を理解することで対応方法がはっきりする。何より、気持ちの負担が軽減される」と語るとともに「認知症になっても、ひとが変わるわけではない」と、参加者に認知症への理解を求めました。また、介護予防体操を体験したり、介護グッズの実演が行われました。



「税を考える週間」の表彰式を開催

「税の役割と税務署の仕事」をテーマに11月11日から17日の期間で実施された平成25年度「税を考える週間」に関連し、税に関する書道、標語、作文の表彰式が11月13日に町立図書館で開催されました。

税の意義や役割、仕組みや目的などを考え、理解することを目的として作品を募集し、小学生の書道部門で伊佐祐希乃さん(西原東小6年)、中学生の標語部門で仲村碧さん(琉大附属中3年)が最優秀賞に輝きました。また、中学生の作文部門で金城実夢さん(琉大附属中3年)が北那覇税務署長賞を受賞しました。



中学生標語部門の受賞者のみなさん

まちの話題

中学生が英語で寸劇を披露

英語のコミュニケーション能力や興味・関心を高めることを目的に、英語スキット(寸劇)を披露する「平成25年度西原町中学生英語スキットコンテスト」(町教育委員会主催)が、11月12日に西原町中央公民館で開催されました。これまでは個人で演じるストーリーコンテストが行われてきましたが、寸劇によるコンテストは初めての開催です。

コンテストには西原中・西原東中から3組ずつ、計6組が出場。自分たちで創作した英語劇を元気に堂々と演じました。審査は話し方や動作、内容の面白さ、独創性などを基準にして行われ、審査の結果、西原東中の與那嶺沙樹さん(2年)、呉屋愛恵さん(3年)、岩淵海志くん(3年)、若松海斗くん(3年)、瀨長佑太くん(3年)が演じた「The Bargain」が1位に輝きました。



西原東中の生徒たちが全国へ羽ばたく

10月14日に決勝が行われた第5回全日本少年春季軟式野球大会沖縄県予選で、西原東中が美東中(沖縄市)に勝って優勝。11月に熊本県で開催された同大会の九州大会に出場しました。チームを代表して仲地雄飛くん(2年)は「大会が近づくにつれ、みんなの気持ちが高まっていき、目標だった九州への切符を勝ち取れた」と喜びを報告しました。

また、高円宮杯第65回全日本中学生英語弁論大会の沖縄県予選大会が10月5日に行われ、伊良部理乃さん(西原東中3年)が3位に入賞しました。伊良部さんは11月28日から東京都で開催された全国大会に出場しました。伊良部さんは「気持ちを緩めずに練習を積み重ね、全国一を目指したい」と抱負を語りました。

同校の技術部は、11月3日に開催された第14回創造アイデアロボットコンテスト県中学生大会の応用部門、授業内部門の両部門で準優勝に輝きました。12月に大分県で開催される九州大会の出場を前に、キャプテンの與那嶺友海さん(3年)は「今までの成果を発揮して、すばらしいロボットを見せられるようがんばります」と、決意を語りました。



伊良部理乃さん



西原東中野球部



西原東中技術部

楽しい人形劇に歓声と拍手! ～人形劇団「かじまやあ」が公演～

沖縄の民話や伝説を素材にした人形劇を行っている人形劇団「かじまやあ」の公演会が、11月16日に西原町立図書館で開催されました。

今回の公演では、親子の愛情の大切さをテーマにした「チョンダラー」という作品を演じました。同劇団の見どころでもある、人形が飛び跳ねる動きなどが随所に披露され、ストーリーのみならず演出も含め、会場いっぱい詰めかけた親子連れから歓声や拍手が上がりました。



シングルパパが子育てについて熱く語る

「シングルパパのガチンコ子育て&絵本ライブ」が、11月17日に西原町いいあんべ家で開催されました。イベントには、シングルパパとして3人の子どもを育てている宮原礼智さん(ファザーリング・ジャパン代表理事ほか)を講師に迎え、2部構成で行われました。

前半の講話では、母子家庭だけでなく父子家庭にも支援されるよう、地元の福岡県や政府に働きかけてきた活動を紹介。また、自身の子育て体験について「ひとり親になった当初は負担を感じていたが、次第に楽しさを感じるようになった。1つ1つのミッションをクリアし、子育てスキルが上がっていった」と、子育ての楽しみ方を語りました。

イベントの後半では、宮原さん自ら絵本の読み聞かせを行いました。歌やアクションを交えた読み聞かせを披露し、参加した親子は楽しく物語を聞き入りました。



西原町役場で防災訓練を実施

平成25年度緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練の一環として、11月26日に西原町役場で防災訓練が実施されました。今回は、西原町役場の行政組織における被災時の初動対応について訓練が行われました。

訓練は、中城湾沖でM6.5とM8.0の地震が発生、その後大きな津波が到達したという想定で行われました。状況が刻々と変化中、シナリオに沿って現場確認や避難誘導などの指示が飛び交いました。

また、東部消防組合消防本部や災害援助隊など、各関係機関への応援要請も行われるなど、約100分の緊迫した訓練となりました。訓練後、上間明町長は「このような訓練は回数を重ねて体で覚えることが重要。また、班ごとでの細かい訓練も今後実施していきたい」と総括しました。

